

### 第3回住みよいまちづくり部会報告

日時：令和元年12月19日（木） 13時30分～15時

場所：東久留米市役所 704号室

#### 議題

##### 1 東久留米市の防災について

今回は、東久留米市社会福祉協議会の宮田様から社協の取り組みについて、説明を頂く。

資料 「小地域福祉活動と防災～防災への取り組みが地域をつなぐ社協による地域への積極アプローチ～」

#### 主な説明

「小地域福祉活動」を進めてきた。

主な活動 2ページ、3ページ

近所の人たちが集まれる場がほしい。（最初の動機）

実施すると決めたら、元になる考え方（やっ払いこう、やりたい）をもち、反対があってもぶれないことが大事。

例えば、「喫茶うえのはら」では

毎週実施、「うえのはら保育園、モナモナなども参画

毎月第2木曜日委員会を実施、ボラなど手伝う方も充実

様々行いたいこと、心配事などその都度話し合いをもってきた。 防災もその一つ。

#### 防災に関する「小地域福祉活動」の実施

4ページ～

避難所単位で防災に関する連絡会を立ちあげた。

東部、中部、西部地区の3つ、それぞれ社協の職員が継続性をもたせるため、その地区を長年にわたりカバーしている。（担当が変わると関係性などを保つのに苦勞するなどの理由）

今回は、東部地区の事例を紹介。(5～6 ページ)

その中から課題として見えてきたもの。

(6～7 ページ)

あらためて、社協の防災への取り組みを整理すると、

(8～10 ページ)

防災情報交換サロン、災害啓発講演会などの実施

災害ボランティアセンターの設置＝市との協定に基づく

※社協も独自に災害対策本部を立ちあげることになっている。

東部地区の取り組み事例を年度によって紹介。(11 ページ～

14 ページ) 取り組みから見えてきたもの (12～15 ページ)

少しずつ、障害者施設や高齢系の施設の方々の参画。

#### 意見交換

中部地区、西部地区も東部のように、障害をもつ方々も参画できるよう、努めていければと思う。

障がい当事者も災害時にはボランティアとしてお手伝いができるよう  
少しずつ、努力が必要ではないか。(ろうあ教会は2名の方が社協主催  
の災害ボランティアの講座を受講)

一人で住んでいる方々の災害時の時の避難行動に対する支援は、何か  
考えていった方がいいのではないか。

医療的なケアが必要な方々の災害時の支援に関しても、準備が必要で  
ある。

「ALSの患者さんのための災害対策1分講話集 もしもの時…?」  
配布。

こうした、部会や協議会で話されたことをどのようにみんなに  
周知していくかも課題。